

若者×移住×地域おこし

地域おこしのMOVEMENTを

「ぐるり」から巻き起こす

令和4年10月に匝瑳市初の地域おこし協力隊に就任した北條将徳さんは、今年3月に活動の拠点として「ブックカフェ&リユースぐるり」をオープンしました。拠点を設け、地域活性化に向けた取り組みをさらに推し進める北條さんに、協力隊として現在挑戦している取り組みや今後の地域活性化に向けた活動の展望などを伺いました。

現在の取り組みの状況は？

地域おこし協力隊として着任して早々の令和4年末、市の中心部の書店が閉店する様子を目の当たりにしました。商店街の中心地として地域経済を担い、本や教科書販売といった文化をつくり、お祭りの一丁目一番地として親しまれた場所が果たしてきた役割を新しい形で引き継ぎたいと考えました。

そこで、市内の空き店舗を活用し、新たな文化・情報発信拠点「ブックカフェ&リユースぐるり」をオープンしました。そこを拠点に、人のつながりや生業起業など、さまざまな取り組みが生まれる場所を目指し、次の地域おこし活動に取り組んでいます。

人と人のつながりの場を

市外から移住し暮らしている中で、市内に高校生や子育て中の人などの居場所が少ないことを感じていました。そこで、家でも学校や職場でもない、第三の場所として、ほっと一息つきながら過ごすことができ、居合わせた人同士

で交流・情報交換を楽しめる空間をブックカフェとして提供しています。

店内ではし字型のカウンターを中心に、利用者同士で自然と会話が生まれています。本は、子どもから高齢者までどんな人でも滞在できるように、絵本、マンガ、小説から歴史本まで幅広くそろえています。

地域文化の活性化を

新たな地域文化が生まれる場所、発信される場所を目指し、個人や少人数のサークルなどが気軽にスペースを借り、趣味などを披露することができ、市民が自ら企画を持ち込み、ステージを借りたり、キッチンを借りたりするなど、利用者のニーズに応じた使い方で、イベントやワークショップを開催できます。

挑戦するチャンスも

市民の一人ひとりが主役となれる場所や生業起業の機会を作ることを目指し、本棚の区画貸しを行う「ブックアパートメント制度」を行っています。

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、都市地域から人口減少や高齢化などの進行が著しい地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。



思い思いの品が並ぶ本棚

今後はどんなことを計画しているの？

市の魅力を発信する「シテイプロモーション」には、地域を良くしていく地道な活動が不可欠と考えています。

今ある資源を生かした取り組みを進めることで、誰にとっても住みやすい、誇りを持つ街になるように引き続き活動していきます。

具体的には次のようなことを考えています。

資源循環で地域活性化を

地域に眠る「まだ使える魅力的なモノ」を活用し、地域に還元したいと考えています。具体的には、食器や古道具、本などの不用品の訪問回収を考えています。回収したものは、都会の若者などレトロ好き



北條 将徳 (30歳)

東京都出身。慶應義塾大学を卒業。卒業後は東証プライム企業に入社し海外営業などを担当。その後パーソナルトレーナーに転身し現場から経営業務までを広く担当。令和4年10月に匝瑳市初の地域おこし協力隊に就任。

きな人への販売を通して地域をPRしながら、一部は市民へ無償提供し、資源循環を目指します。

少ない資源で、多くのことを。莫大な設備投資や資源消費がなくても地域活性化ができる事例を作っていきます。

食から地域活性化を

食品の回収配布を行うボランティア団体「フードパントリーそうさ」の活動で大手メーカーの食品を配布しているときに、「市内に多くの産品があるのに」ともどかしさを感じました。そこで、農業の盛んな地域性を生かして、地域の食材を使って若者男女が楽しみながら食事を囲む機会を作ろうと考え、誰もが参加可能な「ぐるり食堂」の取り組みを始められています。

高齢化社会での手助けを

地域で高齢化が進行し、空き家も増える中、残されたモノの整理が大変だという声をよく聞きます。放っておくと、歳をとって作業が困難になる上に、空き巣に狙われる危険性も増します。

そこで、少しでも物品整理の作業負担が減るように、生前整理や遺品整理の手伝いをしたいと考えています。単に作業するだけでなく、モノやヒトに対する想いを酌みながら整理を手伝い、一部の活用可能な資源については再活用のために訪問や持ち込みで引き取ります。

また、空き家についても、DIYでの改装によって移住支援に役立てられれば市の発展につながると考えています。

ぐるり利用者の声

日ごろ「ぐるり」を利用する人や、北條さんの活動を知る人からの声を紹介します。



岩瀬 崇夫 さん

ぐるりができたことで、市の文化環境が大きく変わったと感じています。北條さんが、今抱えているプランを少しずつ実現させていってくださることを期待しています。



サブリーナ さん

ぐるりができて、たくさんの人や経験に出会い、自分自身、地域コミュニティにより深く関わることができるようになりました。市にも活気が出てきた気がします。

北條隊員の活動拠点

ブックカフェ&リユース ぐるり

利用可能日時…原則水曜日～日曜日の11時～19時

※事前にInstagramでご確認ください。

所在地…匝瑳市八日市場イ2915番地

◆ぐるりの位置図



問北條将徳 ☎090-9805-8769